

## 千葉中央での思い出

柳澤 勇志

僕は、平成二十五年、三年生の四月頃に入りました。僕が千葉中央に入った最初の目的は、ダイエットでした。体がプックリしてきたので、少し体を動かさなければいけないと思っていたからです。

初めての体験が終わって、とても楽しかったので、この千葉中央でがんばろうと決めました。

最初は、週に一・二回行き、あまりメンバーが揃わずに練習をしていました。

五年生になって、チームメンバーが六人揃い、大会に出るようになりました。練習日は週四日に増えて、体力トレーニングも始まりました。とてもつらかったです。十月頃、元基という頼れる仲間が入って来てくれました。去年の三月末、僕がキャプテンとしてチームをまとめる力がなかったなので、元基とキャプテンを交換しました。とても悔しかったです。副キャプテンとして気が少し楽になり、元基を支えながら、取り組みました。

それからは、自分達がパワーアップしていくように感じました。千葉市民大会で三位になれたのでうれしかったです。

僕の千葉中央での一番の思い出は、ユトリシアでの合宿です。厳しい練習をし、メンバーと一緒に生活をしながら過ごすのが楽しかったです。特に楽しかったのは、夜に遊んでトランプとウノをやった事です。また、監督が持ってきて下さったおやつは、いつも美味しかったです。

たくさんの千葉中央での思い出を作ってくださった監督、コーチ、保護者の方々、そして仲間達、本当にありがとうございました。

中学校へ行ったらバレー部に入り、僕が一度の勝てなかった、県大会へ出場し上位を目指して、一年生の代表になれるようにがんばります。今までありがとうございました。